

仕様書

1 業務名

京都府立学校における学習用端末卒業処理業務

2 目的

本業務は、府立高等学校及び特別支援学校高等部の生徒の卒業に伴う学習用端末の卒業処理業務であり、学習用端末を端末管理用ソフトウェア（以下「MDM」という。）等の導入前の状態に戻し、個人所有の端末として自由に活用できるようにする。

3 履行期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

※詳細な日程については別途府教育委員会（以下「府教委」という。）と協議すること。

4 対象端末及び台数

令和5年度末に卒業する府立高等学校及び特別支援学校高等部の生徒（保護者等）が購入した学習用端末及びMDMを設定した持込端末（1,527台）

※台数は予定であり、生徒の転入、転出、原級留置等により増減することがある。

5 対象校

別紙「対象校一覧」のとおり

6 業務内容

対象端末に対し、以下の作業を実施すること。作業内容の詳細については別途指示する。

(1) MDM上の端末情報の削除

(2) Apple School Manager上の端末情報の削除

なお(1)及び(2)の作業は、別途府教委が提示する各学校ごとの対象端末が特定できるリストを元に実施すること。

※対象端末の初期化については府立高等学校においては生徒自身が、特別支援学校高等部においては学校が行い、VPPライセンスの回収は学校が行うものとする。

7 特記事項

(1) 見積に係る費用は全て業者負担とすること。

(2) 本仕様書に記載のないことで、疑義が生じた場合は、その都度協議の上定めるものとする。

(3) 業務完了後、府教委の検査を受けることとし、合格したことをもって検収とする。

R 5 年度末対象校一覧

No	学校名	端末台数
1	鴨沂高等学校	230
2	洛北高等学校	267
3	鳥羽高等学校	259
4	嵯峨野高等学校	319
5	南陽高等学校	37
6	峰山高等学校	189
高等学校合計		1,301
7	盲学校	9
8	聾学校	3
9	向日が丘支援学校	22
10	宇治支援学校	42
11	城陽支援学校	20
12	八幡支援学校	33
13	井手やまぶき支援学校	10
14	南山城支援学校	13
15	丹波支援学校	18
16	中丹支援学校	24
17	舞鶴支援学校	14
18	与謝の海支援学校	18
特別支援学校合計		226
全体合計		1,527